

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成18年度第4回定例会
開催日時	平成18年7月19日（水曜日） 18時30分から20時55分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：森忠 副会長：濱崎昌子 委員：細井邦夫、浅倉隆壽、下栗庸隆、富澤佳代子、野間春二、武田雅子、石橋いつみ、紺野和子、奥田泰弘 職員：相原館長、近藤事業係長、伊佐分館長、山本分館長、玉木分館長、香坂分館長、小林分館長、藤森公民館主事
欠席者	柳澤英之、伊波真貴子、遠山久敬
議題	(1) 第3回定例会の記録について (2) 報告事項 1. 行政報告 2. 職員の異動について 3. 事業計画・報告書について 4. 公民館だより編集室報告 (3) 協議事項 （仮称）保谷駅前公民館・図書館施設整備基本計画 (4) 事務連絡及び情報交換 (5) 回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1. ニュースの送り手から放送を語る（保谷） 2. やぎさわアカデミー 情報発信ゼミ（保谷） 3. 「西東京の歴史を歩く」（爽秋編）（保谷） 4. いきいき子育て・はつらつママ（田無） 5. 若い女性のためのマナーアンドトーク講座（田無） 6. お料理事始塾（田無） 7. 私の戦争体験（芝久保） 8. 熟年夫婦の新しい関係 居心地のいい2人になるには（芝久保） 9. 幼い子を育てている女性の講座2（芝久保） 10. 衣類・ハギレを楽しくリフォーム（住吉） 11. 伝統音楽入門 初めての尺八講座（住吉） 12. 心のメッセージ「絵手紙」（ひばり） (2) 事業報告書 1. 西東京の歴史を歩く（新緑編）（保谷） 2. 童話講座「みんなで童話を語ろう」（ひばり）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録

会議内容
(1) 第3回定例会の記録について 注記：記録について確認 (2) 報告事項 1. 行政報告 ○館長： （仮称）保谷駅前公民館・図書館施設整備基本計画（案）を7月5日付で教育長に報告、了解を得た。後ほど、当審議会にも報告したい。 2. 職員の異動について ○館長： 7月1日付で職員の人事異動があったので紹介する。芝久保公民館の村上勝美主任が用地課に、住吉公民館の田中真奈美主事が健康推進課に異動した。代わって、芝久保には、スポーツ振興課から新井勝美主査が、住吉には生活福祉課から鈴木隆主事が配置された。 3. 事業計画・報告書について ○会長： 事業計画書について意見を聞く。 ○委員： 保育付き事業、田無と芝久保を比べると回数の違いが目につく、講座内容や時期の調整等はしないのか。 ○職員： 保育担当の職員は月に1度集まっており、保育付き講座の情報は交換しているが、調整まではしていない。保育担当者が必ずしも保育付きの講座の担当になる訳ではない。芝久保の女性問題講座は、5月にスタートし定員をオーバーする申込みがあった。講座担当者として、急遽保育予算の許す範囲で再募集を行ったため、2回目は回数が少なめになっている。 ○委員： 私の知り合いが、保育付きの講座に参加して、大変感謝の言葉を述べていた。参加してよかったという声が届いている。 ○委員： 芝久保で5月スタートした保育付き講座では、その後サークル化に結びつくようなことはあったのか。 ○職員： 講座は9月までの予定で、終了していない。

○委員：

芝久保の熟年夫婦の講座と、保育付き講座の講師が同じ人物だが、講師としてはどちらが専門なのか。

○職員：

講師の専門は、子育てと女性学だと聞いている。職員が企画の段階で、池田講師に相談したところ、主に女性に対しての講習であれば可能であるとの回答を受け、決定した。

○委員：

保谷公の歴史を歩く講座第1回目は、何人くらいの応募であったか。

○職員：

15人定員に対して、36人の応募である。

○委員：

田無公の若い女性のマナー講座は、良い視点だと思う。昔は、公民館に青年学級があり、多くの若者が集っていた。新しい視点での青年事業に取り組むことで、公民館の原点の現代版が実現できればと思う。ぜひ続けて欲しい。

○委員：

西東京の歴史を歩くの事業報告に、人間関係を緊密にすることが大切であるとの記述がある。どのような工夫を講じたのか。旧田無と保谷の地域性の違いを学ぶ大変よい機会と思う。ぜひ参加してみたい企画と思う。

○職員：

昨年度の反省を踏まえ、実施前にクラス作りを行った。講座の目的が単に歴史の学習をするだけでないことを話し、具体的には15人をゲームで3グループに分けるなどの工夫をして気持ちを和ませた。

○委員：

芝久保公の熟年夫婦のための講座は、対象を見るとペアではないが、妻対象なのか、夫対象なのか。イライラは、妻の方が多いと聞くが。また、新しい出会い、という言葉があるが、どういうことか。

○職員：

夫婦での参加も可と考えるが、時間設定の関係で、どうしても妻の参加が多くなるのではないかと踏んでいる。新しい出会い、とは、当講座に参加する受講者同士の出会いという意味である。

○委員：

ぜひPR時には、夫婦での参加を求めてみてはどうか。

○委員：

私は、妻にポイントを置くという説明の趣旨でもいいと思う。私の公民館デビューは、妻の後押しがあって果たせたこともあり、こうした学習会を通じて、夫を地域に出すことを学ばせることも大切だと思う。

○委員

妻に、夫を地域にデビューされることを学ばせるという趣旨の発言と思うが、夫に対して、地域で出るように直接的に働きかけるべきと思っている。

○委員：

熟年夫婦の問題には、心の問題が課題になることも予想される。講師の女性学の専門家は良いとして、今後は、セラピストなどを加えて、心理学的な見地の学びも必要と思う。

保谷公の歴史を歩く講座の職員の所見欄に、職員の受講者への働きかけの事例が記載されているが、こうした工夫を職員会議等で共通認識をしていって欲しいが、現状はどうか。また、情報発信ゼミの受講生の年齢層は、例年参加者が少ないために意識的に上げたものか。

○職員：

事業の結果報告を、職員会議で取り上げたことはない。情報発信ゼミの対象は、お見込みのとおりである。

○委員：

事業の好例は、情報公開すべきと思う。検討して欲しい。

○委員：

田無公の子育て講座の回数と講師謝礼の支払い回数の差は。

○職員：

1回目は、保育室での説明で講師は必要ない、後半にも、具体的な学習を済ませた後に、講座後のサークル化等について職員と参加者が話し合うために講師は依頼していない。

4. 公民館だより編集室報告

○委員：

7月号の紙面で、2件の電話番号の記載ミスが発見された。関係者には十分お詫びをして、訂正記事を掲載することにした。今後は記事を受けた担当館が、初稿時に電話を掛けて本人確認をすることにした。

8月号は、B29の写真を中心にして、西東京の戦災についての記事を予定している。9月号の1面は、エフエム西東京を取材した。

○委員：

「公運審委員のつぶやき」のタイトルは、小さな声でぶつぶつと言っているイメージ

があり、大変書きづらかった。当初の趣意と離れかねない。

○委員：

各館の今年の編集委員について知らせて欲しい。

○職員：

了解した。

○会長：

暫時休憩する。

(19時10分休憩)

(19時20分再開)

(3) 協議事項

1. (仮称) 保谷駅前公民館・図書館施設整備基本計画

○館長：

1頁から2頁にかけては、整備懇談会の提言を要約して、新しい公民館・図書館の理念を示している。

3頁からが公民館の具体的なイメージを書き記している。(1)は、ソフト面を(2)ではハード面について、新しい公民館・図書館のあり方の提言をベースに文章化した。もちろん、ハード面については、頁末のイメージ図でも示している。4頁は、図書館について。5頁の(5階)の(2)のテラスについては、屋上はビル全体の共有スペースということで、公民館独自で使用方法を提案することはできない。また、(4)のその他にも記載しているが、部屋数が限られているために、どの部屋も、専用室は避けて、使用形態に柔軟に対応が可能な設備に工夫するよう結論付けている。

図面上の会議室という名称であるが、4階の図書館の学習室との混同を避けるために使っているもので、いわゆる会議だけを目的にした部屋ということではない。

○会長：

駅前公民館の図面作りも最終局面を迎えつつある。コンセプト等についての大きな変更の提案でなく、イメージ図に示されている会議室等の具体的な使い方や備品等についての提案・要望をして欲しい。

議論が散漫にならないように、スペースごとに区切って話を進めていきたいので、協力をお願いします。まずは、集会室について。

○委員：

この部屋が一番広い部屋になる。住吉の移転を考慮すると、舞台代わりに使うこともあると思う。どのような用途で使うことを考えているか。

○館長：

映画会やコンサートなどの催し物ができるようにしたい。また、軽防音が出来ればと思っており、映像関係の機器も整えたい。

○委員：

今は書かれていないが、備品や椅子の収納庫も必要と思う。音楽会や映画会を行うということになると、どちらを舞台正面にするのかを考える必要がある。私は、奥の方に設備を据え付けることにしたら良いと思う。

青少年の利用については、どの程度の遮音を予定しているのか。

○館長：

ドラムセットを使うような大きな音については、この部屋では無理だと思う。

○委員：

既存施設の利用者を考えると、下保谷の和室と住吉のすべての機能を含まないと納得してもらえないのではないと思うが、どの程度で折り合うかだと思う。

集会室の遮音については、これまでの住吉を考えると、ダンス系のサークルへの対応も考慮すべきかと思う。床材は、それに耐え得る材料にすべきである。下が図書館ということは特に配慮すべきだ。調理機能の部屋のおいの問題などもそうであるが、後になってこうしておけばよかった、作ったけど使えなかったということのないようにして欲しい。

テラスは共有部分だというが、少しは外に出られるところが欲しい。万が一のときにも使えるのではないか。

○委員：

集会室の舞台については、保谷公にあるような移動式のものでも良いので備えておいて欲しい。備品として用意してほしい。

○委員：

テラス部分が使えないということであると、L字型の部屋の部分のみということか。

○館長：

そのとおりである。

○委員：

新しく作る訳だし、駅前特性を生かすという意味では、若者が自由に音楽の練習で音を出せる施設を作ることだと思う。それに対応できるのは、この集会室なのではないか。

○館長

集会室にバンド演奏をすることまでを想定した防音は施せないと思う。趣旨としては理解できるので、会議室4に完全防音が出来るような設備を整えたいと思っている。対面朗読室との共用になるが、朗読室の使用時間は限られており、それ以外の時には公民館利用としたい。

○委員：

集会室を2つに分けることは考えているのか。また、会議室2と3の境の壁もパーティ

ション構造にすれば、1つの部屋にして集会室並みの大きな部屋として利用することも可能だと思う。また、伝統文化の伝承ということを考慮すると、和室はぜひ必要な部屋だと思う。

○館長：

集会室の間仕切りは、予約システムの関係で躊躇している。部屋数が少ないので、多くの利用を考えると仕切ることも必要かと思うが、コンピュータで管理している予約システムでは、1つの部屋を2つに分けて予約を受けることは困難である。

会議室2と3の壁をパーティションにすることは、遮音の関係上考えてない。和室の必要性については一定の理解はするが、部屋数の問題で断念した。ただし、会議室1を土足禁止にして、保育室との兼用を考えており、靴を脱いで行う活動についての配慮はした。

○委員：

集会室の利用が最も高いのではないかと思う。予約システムの関係でパーティションが難しいのであれば、曜日別に全室を使える曜日と、AB2部屋に分けて使える曜日に分けてでも、部屋を仕切る工夫が必要だと思う。

○委員：

今の提案だが、予約システムの関係で難しいのであれば、予約の始まる前に特別に申請を受けて入れることは出来ないのか。

○職員：

可能である。ただし、保谷公民館の視聴覚室の2ヶ月前予約は、2年ほど前にさまざまな問題を残して廃止した経緯があり、あまり良い制度ではない。発表やコンサートを行う団体ばかりが優先権を行使し、通常の練習や定期活動サークルは使いづらい施設になる。発表を考えるのであれば、それにふさわしい施設があると思う。

○委員：

大きな部屋を時間を区切って2つに分けたりするというのは、どうかと思うが、今の時点では大きな変更だと思うが、部屋が少ないのであれば、大きな部屋はあらかじめ、ここを2つに分けることも考えるべきではなかったのか。

○委員：

住吉公民館では、集会室は2つに分けて使っていると思うが。

○職員：

特例使用の申請が出た場合に、アコーディオンカーテンで分けて使っている実績はある。

○委員

若者が使う会議室4は、机も必要だと思う。楽器も持ち込むということで、それも許可するのか。

○館長：

あまり広くないので、その範囲に入るものを持ってきてもらうことになるだろう。

○委員：

保谷高校生が多く使う駅でもあり、せめて1箇所でもそうした若者のための部屋が必要だと思う。

会議室1は保育機能優先であり、仮に畳を敷いたとしても、伝統文化の活動には無理かと思う。

○委員：

集会室が狭くなったとしても、若者のための防音室がぜひ必要だと思う。この施設でできないということになれば、既存の施設にはない訳で、この次にいつ公民館が改築されるかわからない状況で、先送りにだけはしないで欲しい。

○委員：

会議室3の防音はあるのか。

○館長：

防音は考えていない。

○委員：

会議室4は対面朗読室だと聞いているが、5階は公民館部分であるのに、なぜ図書館の機能がこの部分に来たのかが疑問だ。せめて、録音のための固定の機器を置くことだけは避けて欲しい。また、録音ブースをここに持ってこられると、もう公民館の音楽練習室としては使えなくなると思う。

○委員：

保育室1は土足禁止でお願いしたい。また、保育室としての機能は、午前中に限定できないものか。下保谷と住吉の和室を使っている団体にとっては、和室がなくなるのは痛い。せめて備品としての畳が欲しい。運べるものであれば、他の部屋に運んで使うことも可能だ。

○委員：

会議室1であるが、保育室機能を優先する部屋をたとえ開放型にしたとして、本当に会議室として使えるのか。

○職員：

会議室1の面積は45平方メートルと聞いている。これは田無公の保育室程度である。この中に幼児用のトイレと流し、備品庫やおもちゃ類を入れるとかなり小さな会議室ということになると思う。その範囲で使える団体ということに限定されると思う。

○委員：

調理機能については、どの程度のものを予定しているのか。

○館長：

会議室2が調理機能のある部屋ということで予定している。調理室ではなく、調理をすることが可能な会議室だ。調理台をすべて壁面につけてしまうことで、他にも有効に使えるようにしたい。調理台は、面積的に2台程度かと思う。

○委員：

住吉の調理室の利用人数はどの程度か。

○職員：

サークルはさまざまな使い方をしているが、主催事業であれば、最低20人程度が使える調理台は必要かと思う。

○委員：

せっかく設置するのであれば、やはり主催事業には使えるだけの数は用意してはどうか。

○委員：

食育が提唱される時代に、それに即応する施設や部屋は必要である。料理が出来る部屋はぜひ作って欲しい。調理台も、他の用途に転用することが可能なものを購入すべきであり、共用することに異論はない。ただし、台数については、教師用のデモ台と、生徒用に4台は必要だ。1台に6人が限度だ。また、デモ台が壁面に付いていたのでは説明もしづらいし、見ることもできないと思う。

○委員：

私は、部屋の数や建物の大きさを考えれば、調理台すべてが壁面に付いているのは仕方がないと思っている。ただし、2台ではあまりに少ないのではないか。2台では中途半端になってしまうと思う。

○会長：

このあたりで、パブリックスペースに話を移して欲しい。総合事務室のことなども含めて発言してほしい。

○委員：

職員は4階に居て、5階が公民館スペースであり、目が届かないと思う。

○館長：

今までの西東京市にはないづくりの建物であり、担当者間で詰めていきたい。

○委員：

公民館職員と図書館職員の兼務ということは想定しているのか。

○館長：

今のところその予定はない。

○委員：

総合事務室の案を見ると、これを機会にして、定数減をするようなことになることが心配である。

○委員：

4階にはロビーがあり、5階にもオープンスペースがある。田無公民館の1階のロビーをイメージした場合に、会議室を出てその後に自由に集える場ということになると思う。大変有効なスペースと思うが、反面ルールをきちんとしておかないと、悪い面も出ると思う。

○館長：

5階のオープンスペースは、誰でもが自由に使える場として考えているが、あくまでも公民館の専用スペースである。誰でもが使えるというのは理想であるが、5階には職員の目が届きにくいので、できるだけ工夫を凝らしたい。

○委員：

無人の階を監視するためには、防犯に対しての市民への理解を求めていくことが必要と思う。5階の廊下には、手すりをつけることを提案する。誰でもが使える施設には必要かと思う。

○委員：

各部屋の扉であるが、ある程度中が見えるようなスリットがあった方が良いと思う。防犯カメラの設置に対しては、反対する住民もあると思う。監視ということへのデメリットも承知するが、やはり犯罪に対する抑止力には必要な部分もあると思う。警察官立ち寄り場所とか、防犯カメラ作動中といった類のシールがあるだけでも抑止効果があると聞く。事件・事故が起きる前の対策はぜひ講じて欲しい。

また、防災面に対する手立てには、抜かりなく予算は投入すべきと思う。

○館長：

防災施設や組織については、共同ビルでもあり、管理組合で協議すべき事項もある。しかし、きちんと公民館側としての意見は述べていきたいと思う。

○委員：

給湯スペースの熱源は何になるのか。

○委員：

給湯スペースの前に会議室3の扉があるが、防災上問題になるかもしれない。確認して欲しい。

○館長：

いずれも、実施設計の段階で、消防法の規定をクリアする施設にしたい。

○会長：

続いて、施設・設備から離れて、運営面や事業のあり方について意見を述べて欲しい。

○委員：

移転するということであれば、住吉公民館の利用者のニーズをどう汲み取るのか、ということが最も大切なことだと思う。

○館長：

市民からの意見・要望と、新しい施設の兼ね合いが大変困難であった。ビルの大きさが決まっており、面積的には住吉同等ではあるが、L字型の構造のために部屋数に制約が出てしまった。すべての市民ニーズを取り入れられないのは残念である。

○委員：

この施設では、夜間の主催講座をふやして欲しいと思う。職員の勤務時間のことはあると思うが、その点をクリアした上で、勤め人や成人を対象に事業を組んで欲しい。住宅街にある公民館にはない事業を考えて欲しい。

○委員：

駅ビルにあるので確かにサラリーマンには交通の便はよいと思うが、多くの年齢層に使える施設運営を考えて欲しい。事業は、特に男性を対象にしたものを中心に据えて欲しい。定年前に、地域デビューを果たせるような、魅力的な講座を組んで欲しい。

○委員：

現状では40歳代、50歳代をターゲットにした講座は少ないのではないかな。そんな人を呼び込めるものを企画して欲しい。

○会長：

多くの意見が出ているので、ぜひ前向きに検討して欲しい。予算とスペースの狭隘さから意見をすべて取り入れるのは無理だと思う。まずは、何が重要かを考えて決めて欲しい。今後の予定を述べて欲しい。

○館長：

9月2日に下保谷図書館にて市民説明会が予定されている。ぜひ参加して欲しい。また、9月になるとパブリックコメントが行われる、市民として基本計画に対する意見を寄せて欲しい。

(4) 事務連絡及び情報交換

○委員：

講師派遣事業の要綱については、いつ施行になるのか。

○職員：

7月8日の市民との懇談会で合意を得られた。現在文書課との最終調整を行っており、8月には報告できるのではないかと思う。新しい要綱でのスタートは、19年度ということになった。

(5) 次回の日程について

8月16日（水曜日） 18時30分

於：田無公民館 第2学習室